

日本登山医学会 山岳医・山岳看護師講習会に登録されている皆さまへ

2015 年度「東京クラスタ II 高所登山トレッキング医学・山岳救助実践」が行われます。このクラスタは 2012 年度から新しく開始されたもので、当初「遠征医学・野外活動医学コース」で行われていた内容を再編したものです。高所登山やトレッキングに関する医療の実際、山岳救助実践の現場の課題を、実際に起った興味深い症例を講義やワークショップ形式で深く検討する形で行います。

2012 年度以降にエントリされ国際認定を希望される方には必須となるクラスタです。もちろん国内認定をご希望の方も参加することができます。また、このクラスタはすでに山岳医を取得された方の更新単位となります。以上の方は事後課題に合格したのち正式に単位が認定されます。2010,2011 年度にエントリされた方もこれを受講する権利があります（事後課題は希望者のみ）。

プログラムは 3 つに分かれています。

第一部では日本での最近のトピックスを取り上げます。

- ・本年、日本でも登山届の提出の問題が大きく取り上げられました。朝日新聞記者の近藤は登山者のアンケート調査や識者のインタビューを行い、紙面でこの問題を大きく取り上げました。登山関係の法的問題の専門家である弁護士溝手康史はこの方面での論客でもあります。

- ・日本のトピックスといえば、昨年の御嶽山の爆発はどうなったでしょうか。本年 7・8 月に行われた再捜索の報告を松本の相澤病院千島にお願いします。

- ・低体温症は世界中どこでも起こりえますが、日本ならではの自然気象条件がこれを修飾します。この点を飯田肇（立山カルデラ博物館）に解説いただきます。

第二部では、今年もヒマラヤ遭難解析を HAJ の中川が解説しますが、今回の焦点は 2015 年 4 月 25 日、ネパールを襲った大地震です。

- ・震源地に最も近かったランタン谷は壊滅的被害を受けました。このランタン氷河の最奥の山、ランタン・リ(7205m)への最終アタックの前日、BC で和田城志（サンナビキ同人）が「突然揺れた。短い縦揺れ、そして少し長い横揺れ、」と感じたのがこの地震でした。奇跡的に生き延びた和田による報告は、世界に二つとない貴重な映像および証言となるでしょう。

- ・地震直後、カトマンズ入りした山岳認定医エントリ者である山本太郎（長崎大）は情報がほとんどない地方に出かけます。死亡率が 1%に上るかと危惧されたバグマティ県シンデゥパルチョック郡カリチョウ地区での医療支援活動です。この時期の貴重な報告です。

- ・被災者は移送されねばなりません。国際的な医療搬送につき専門家の二宮（亀田総合病院救命救急科）に背景を説明してもらいます。

第 3 部では酸素と生物の関係を上げます。

登山の医学は低酸素の医学と重なるところが多い。低酸素ガスを吸って起こるほんの短時間の反応から数千年にわたり高地低酸素環境に居住する方々まで、等しく低酸素に如何に反応するかが問われます。今回は、視点をさらに遠くに置き、

古原生代における Great Oxygenation Event の成因それに伴う生物の進化と絶滅を山本（東京大学）が、新生代第 4 紀にホモサピエンスの中から高地適応に優れたグループが生まれた背景を増山（東京医大）が、そしてその分子生物学的背景の理解を三浦（名古屋市立大）が、振り返ります。

2015 年度東京クラスタ II に参加ご希望の山岳医・山岳看護師講習会登録者は、受講費用をお振り込みの上、2015 年 10 月 16 日(金)までに、この文書の第 4 ページ目を利用して、e-mail: dimmtokyo2@jsmmed.org または、FAX: 03-6868-6484 までお申し込みください（アドレスに注意）。定員は 30 名です（定員に達し次第応募を締め切ります）。

（なお、この正規受講募集を締め切ったあと、日本登山医学会一般会員向けの聴講募集を行う予定です。）

日本登山医学会山岳医・山岳看護師講習会 2015 東京クラスタ II 運営責任者 増山茂

dimmtokyo2@jsmmed.org

■日時：2015 年 11 月 15 日（日）9:00-18:00

・場所：東京医科大学病院臨床第一講堂（別紙参照）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

<http://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/access.html>

■受講費用：2015 年 11 月 15 日（日）

全日 14,000 円。

受講費用は、2015 年 10 月 16 日（金）までに、以下にお振り込みください（受講申込書に振込日を記載いただきます）。振り込み者名が明確になるように、姓名＋受講者エントリー番号＋クラスタ名を記入してください。

（例えば、カミコマキ 26 トウキョウ 2 など）

みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 店番号 009 口座番号 2296725

口座名 一般社団法人日本登山医学会 認定山岳医委員会

東京医科大学病院臨床第一講堂案内図



■各講師は独自の資料を用意する予定ですが、全体を通しての講義や実習におけるベーシックテキストは、

「登山の医学ハンドブック第2版」、杏林書房、2009

「High Altitude Medicine & Physiology 5th edition」、Edward Arnold; 2013

UIAA Official Standard http://www.theuiaa.org/medical_advice.html

とします。

■後日、講義全体に関する事後課題が課されることになります。

■プログラム

東京クラスタⅡ 高所登山トレッキング医学・山岳救助実践

■日時：2015 年 11 月 15 日（日）9:00-18:00

■場所：東京医科大学臨床第1講堂（別紙参照）

第一部 高所・寒冷などに関する実践的山岳遭難事例検討 0900-1200

1. 登山届義務化は山岳遭難防止に役立つのか：登山者アンケートからみえるもの
近藤幸夫（朝日新聞）
2. 商業的ツアー登山をめぐる法的側面
溝手康史（弁護士）
3. 御嶽山爆発 10 ヶ月ぶりの再捜索、2015 年 7-8 月：自衛隊・気象庁・長野県警察・消防とともに
千島康稔（相澤病院）
4. 日本の高山地帯における山岳自然環境と低体温症事故：凍雨・雨氷現象の関与
飯田肇（立山カルデラ博物館）

第2部 現代ヒマラヤ登山トレッキング事情 1300-1500

1. ヒマラヤ登山における日本人登山者遭難死亡原因は変化しつつある
中川裕（日本ヒマラヤ協会常務理事）
2. 山が裂けた：ネパール大地震に直撃されたランタン・リ(7205m)登山隊 2015 春
和田城志（大阪市立大山岳会・サンナビキ同人）
3. ネパール大地震直後のカトマンズ郊外、カリチョウ地区での医療支援活動報告
山本太郎（長崎大学熱帯病研究所）
4. 国際患者搬送システムの現状と問題点
二宮宣文（亀田総合病院救命救急科）

第3部 学術的諸問題：地球の歴史 生物と酸素 1510-1730

1. 地質時代における酸素レベルの変化と生物進化
山本信治（東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻）
2. 低酸素応答システム：Hypoxia の分子生物学的理解
三浦裕（名古屋市立大学大学院医学研究科分子神経生物学）
3. チベット人が高所で強い本当の理由：古人類学との対話
増山茂（東京医科大学渡航者医療センター）

受講申請書

2015 年度「東京クラスタ II 高所登山トレッキング医学・山岳救助実践」
を(新規単位・更新単位)として正式に受講します。

e-mail to dimmtokyo2@jsmmed.org or FAX to 03-6868-6484

受講エントリ番号 _____ 氏名 _____ 申し込み日 2015/ _____

参加費

☐ 2015 年 11 月 15 日（日）に正式に参加します（新規・更新） 14,000 円。（事前振込）

・ 参加費の振り込み。

- ☐ 以下の銀行に振り込みました（_____ 月 _____ 日）
- ☐ 振り込み名義は右の通りです（_____）
-

みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 店番号 009

口座番号 2296725

口座名 一般社団法人日本登山医学会 認定山岳医委員会

（振り込み者名が明確になるように、姓名＋受講者番号＋クラスタ名を記入してください。）

（例えば、カミコマキ 26 トウキョウ 2 などのように）